



## コロナ禍で傷ついた暮らしとつながりを癒すまちづくりをすすめ、 持続可能な地域と法人事業と平和な世界のために力を合わせましょう。

2023 年 7 月

信和会理事長 小林 充

2023 年度の社員総会を終え、予算・決算を承認し新役員体制を確立いたしました。これからの時期、夏場の熱中症対策、引き続きコロナ感染症への注意を図りながら、地域活動の再構築・気候温暖化対策・災害対策・経営課題などに、職員一同まい進してまいります。どうかよろしくお祈りいたします。

岸田内閣は、未曾有の軍拡予算を強行し、その財源を社会保障の効率化で大部分賄う、としています。これ以上、さらに医療・介護をどうやって削るといえるのでしょうか。こども手当の拡充は結構なことですが、育てづらさ・暮らしづらさを総合的に長期的に支える政策姿勢が見えないからこそ、子供を作り・育てる希望が持ちにくいのではないのでしょうか。

憲法九条を守り戦争をしない国日本を次世代に残し、戦争を始めさせないやめさせようと世界をリードする国でこそ安心して子育てもできるのではないのでしょうか。

前期は、法人あげてコロナ感染症の予防・治療に奮闘いたしました。クラスターの繰り返しの発生に、法人事業活動は大きく制約を余儀なくされました。また、2022 年 7 月法人全体で運用している電子カルテの障害によって、患者さん・利用者さん・地域の連携事業所の方々にご迷惑をかけ、対応に追われた職員の疲弊と法人事業自身への大きな傷を残しました。

信和会は、2025 年 1 月に創立 70 周年を迎えます。私が在籍したのはそのごく一部ですが、先人からの教えによると、何度も大きな危機に直面したと聞きます。そして、そこを克服して来れたのは、いつの日も、真摯に現状を振り返り、職員・共同組織・多くの仲間の方に依拠して、民医連綱領に立ち返って取り組んだことだった、と聞いています。

2023 年度信和会法人は、「持続可能な地域と法人と平和な世界を！学びと連携の輪を広げ強めて」と目標を掲げました。患者さん・利用者さんのくらしと健康を守るための毎日の医療介護活動、もう一步進んで地域・患者さん利用者さんとその家族・法人職員自身の健康増進活動、そして地球の未来のための CO2 削減とを一つに貫いて活動してまいります。そこに立ち向かうための組織として必要な改革や人材の確保育成を進めながら、様々な声を集めて社会に対しても発信し続けます。

どうか、今期も当法人へのご指導・ご支援・ご鞭撻のほどよろしくお祈りいたします。

### 2023 年度社員総会を終えて

(報告)

6 月 21 日(水) 126 名の社員(委任状 52 名含)の参加で、定時社員総会を開催しました。理事長の開会宣言、2022 年度法人目標到達と 23 年度法人目標の報告の後、議案の提案・討論を行いました。

1 号議案の討論ではあすかい病院からは病院機能と介護事業所との連携強化を図り経営改善に取組む発言、茶山のさからは介護医療院への転換後の事業報告と利用者の生活の質向上のために更に病院と連携を深めたい、各友の会から居場所づくりの取組や新方針の討議を進めて行きたい等の発言がありました。(3・4 頁に詳細)

社員総会に提案された事業・決算報告、役員改選等、1 号から 5 号議案は全て全会一致で承認されました。

新体制のもと事業・経営計画に基づいて全力で取組みます。引き続きのご支援を宜しくお願い致します。

第一回理事会で法人役員を互選いたしました事、ご報告致します。

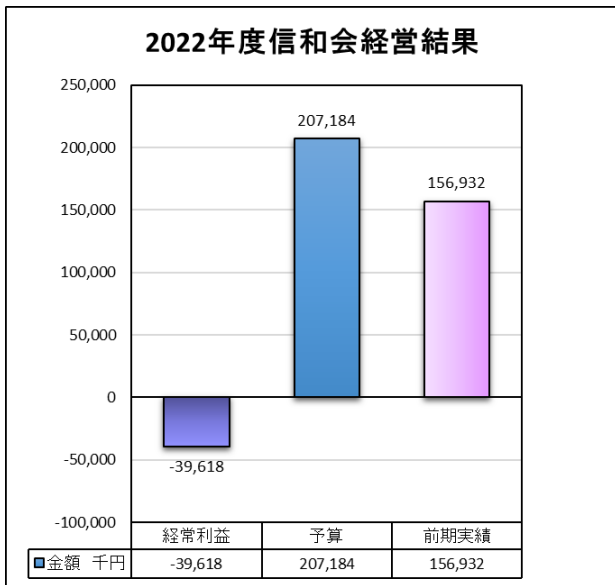
理事長 小林充(再)

副理事長 中川裕美子(再)

専務理事 國井琢磨(再)



## 公益社団法人 信和会 2022 年度経営成績について



病院では3度のクラスターが発生、他の事業所でもクラスターなどの影響により一時的に閉鎖などで、事業収益に大きな影響がありました。加えて、電子カルテシステム障害による医療制限もあり、事業収益での大きな予算乖離となりました。

事業費用は予算・前年実績内の執行でしたが、経常利益では近年に経験のない赤字(▲39,618千円)となりました。遺贈分等を特別利益の計上した結果、当期純利益では44,604千円の黒字となりました。

### 《2022 年度経営結果の特徴》

#### ① 経常利益で△39,618千円の赤字 信和会での経常利益で赤字計上は近年では経験のないもの

2004年度以降で経常利益での赤字は経験なく、2022年度の赤字は近年では経験のないものでした。

#### ② 事業収益で予算に大きく乖離

2022年度もコロナの影響は大きく(病院での3度のクラスター、通所系事業の一時閉所など)、加えて電子カルテ障害による医療制限もあり、医業・介護収益ともに予算に大きく乖離する結果となりました。

#### ③ 事業費用全体では予算・前年実績にも抑えた

事業収益では予算に大きく乖離していますが、事業費用は人件費を中心に予算内の執行でした。

### 《リニューアル事業所の状況》

#### あすかい病院

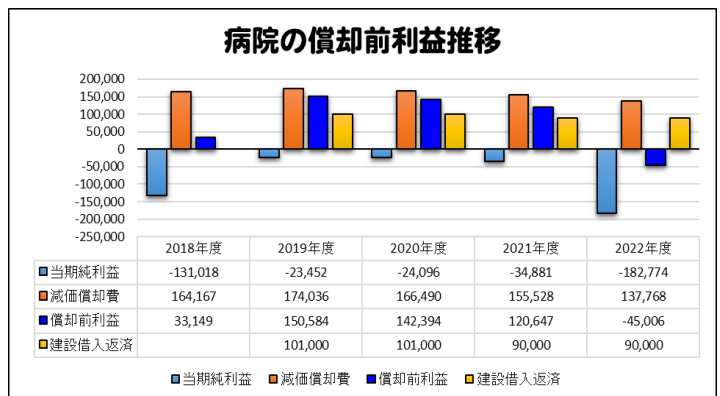
あすかい病院の経営結果の重要な評価基準の一つは、銀行借入の年間返済額(90,000千円)を「自前で賄う」ですが、2022年度の償却前利益は△45,006千円と赤字の厳しい到達です。

#### 東山診療所

東山診療所は2022年度にフルオープンとなったものの、医師体制の困難性もあり、「東山エリア」の経常利益合計は40,204千円でした。建設計画時の「東山エリア」合計での経常利益は65,000千円であり、建設計画とは約25,000千円の開きのある厳しい到達となっています。(財務部)

### 2022年度信和会の経営成績

	実績	予算比	前年比	(単位百万円)
<b>事業収益</b>	<b>5,380</b>	<b>△ 460</b>	<b>△ 278</b>	(病院)入院日当円37,813円↓(2021年度38,904円)、3度のクラスター発生、電子カルテ障害による医療制限あり
入院	2,027	△ 263	△ 193	
外来	867	△ 32		外来件数は増加したが、外来通院収益予算は未達
透析	532	△ 7	△ 9	患者数は増加しているものの収益予算には届かず
在宅	667	△ 48	△ 34	医療体制さえあれば伸びしろ、東山で大幅減(▲17)
健診	126	△ 3		健診は回復基調(前年比でもプラス)
予防接種	50	14		22年度より別掲、コロナワクチン接種は予算以上
介護	1,105	△ 124	△ 28	施設、通所系はコロナ禍の影響もあり厳しい、介護職の欠員が深刻
<b>事業費用</b>	<b>5,555</b>	<b>△ 88</b>	<b>△ 39</b>	
人件費	3,999	△ 129	△ 39	人件費率74.3%→看護師等に欠員が生じている
材料費	400	3	21	コロナ治療薬等により医薬品費が増加
委託費	243	1	△ 23	検査委託費が減少△19(検査機器購入)
経費	561	32	11	物価高騰の影響で光熱費が激増(前年比+16%)
減価償却費	208	△ 4	△ 11	
リース料	34	△ 1	0	
控除対象外消費税	110	10	3	
<b>事業利益</b>	<b>-175</b>	<b>△ 372</b>	<b>△ 240</b>	経営実態は補助金を除いた事業利益でも評価しておくことが適当
<b>経常利益</b>	<b>-40</b>	<b>△ 247</b>	<b>△ 197</b>	禁煙にない赤字、コロナの影響だけではなく経営管理問題が深刻
<b>特別損益</b>	<b>84</b>			(特利)遺贈+95他、(特損)近看損失補填△10他
<b>当期利益</b>	<b>45</b>	<b>△ 163</b>	<b>△ 98</b>	ポストコロナを見据えて、今から打てる対策を講じていくべき
(償却前利益)	168	-251	△ 208	簡便的な資金獲得力を示す指標
<b>&lt;コロナ補助金&gt;</b>				
収益補填	82,431	千円		
経費補填	25,419	千円		
設備補助金	0	千円		
	107,850	千円		
うち未収金	21,760	千円		



## 東山健康友の会



東山健康友の会は現在、三条・今熊野・一橋・貞教・修道・月輪の5つの支部があります。

サークルは俳句と歩こう会で、歩こう会は4月から年金者組合と共同で月1回開催しています。

月間を中心に報告。スタート集会は、各支部に担当職場の職員が参加、スローガン、目標や学習会、懇談会、健康体操などの企画を決めました。取組み特徴は、月輪支部が元月輪小学校の体育館で健康体操を実施したことです。これは役員さんが地域の活動に参加することで、使用許可をもらえ、通所リハビリスタッフの指導で楽しく体操を行いました。入会には至りませんでした。継続してほしいと要望がでています。今年もチャレンジしたいと思います。今熊野支部も通所リハビリのスタッフを講師に転倒予防の実践を行いました。各支部の懇談会や学習会に職員が参加しています。各支部で地域訪問を行い、つながりでの入会、近くの医院閉鎖に伴い、東山診療所へ通院された方に友の会健診を進めて、入会されるなどの成果がありました。月間最終日、目標まであとわずかの到達、何としても目標達成したいと、全職場訪問し、未入会、いつでも元気未購読の職員に声を掛け、目標達成しました。

コロナ前の総会は多くの職員が参加し、食事をしながら出し物やクイズなどを担当し、楽しく交流していました。コロナ禍で制限はありましたが、今年の総会はエリア全職場から13名の参加、新しい職員や3月からケアプランセンターせんじゅうじとしてスタートした居宅、すこやか薬局など、それぞれの紹介ができました。今回で退任される山田フサさんの挨拶は、東山診療所や友の会の歴史に触れる内容で、参加した職員に大きな感動を与えました。これから職員に話を聞く場を設けたいと思う内容でした。

2019年開設の友カフェは、コロナで使用中止していましたが、2023年5月から週2回午前中、役員が当番で再開し、小物作りなどを行っています。又、2022年の安倍元首相の国葬に絶対反対と役員さん怒りの声から、横断幕をつくり職員と一緒に宣伝をしたことを契機に、毎月役員会のあとに宣伝行動を実施しています。現在、横断幕は要求ごとに5枚となり19行動や憲法集会などで活躍しています

今後の課題は月間以外での支部活動として、新方針説明会をかねた懇談会の開催を計画していきます。サークル活動は得意な人も募集しながら将棋、麻雀、習字などができたらと考えています。友カフェでは現在の小物作りにあわせて、いつでも元気誌の読者会なども定期的に開催し、いつでも元気誌の魅力をひろげていく機会を作りたいと思います。東山診療所外来に設置した友の会コーナーで友の会活動が発信できるように工夫すること、東山診療所との定期的な懇談会を行い、会員さんの声や地域の要求を伝える場にしていきたいと思います。(牧田 瑠美子会長)

## 山科健康友の会



大宅支部の結成総会から1年が経過しました。

“山科健康友の会だより夏号”に大宅支部つどい

の参加者から「家族の介護があり支部のつどいが楽しみになっています」との声が寄せられています。大宅支部をつくってよかったと思っています。身近なところで絆を深められる力になる、地域での世話役と日常的に要求を取りまとめる『オルガナイザーの配置』は新方針で書かれていますが大変重要と思っています。石川健康友の会や大阪健康友の会みみはらの経験からも明らかです。

来年大宅診療所創立40周年となります。創立に際し多くの方々の苦労や努力があったと思います。又、事業所と友の会が共同して今日まで維持されてきました。大宅診療所から遠くないところに医療モールや消化器内科の診療所が12月にオープンされようとしています。山科も高齢化が進んでいます。患者さんが歩いてこれない状況もあります。京都市の高齢乗車証負担金2倍化し、25000人がもらえない状況が10月には3倍化されようとしています。医療機関に公共交通機関で通えない方が生まれると思われま。診療所の患者さんも減ると可能性があります。患者送迎について診療所と友の会が共同して具体化し、友の会が身近な存在として発展できるようがんばりたいと思います。(勝浦 晋吾会長)

## 左京健康友の会

共同組織新方針(案)はまだ役員でもすくと落ちていない状況があります。これから1年間かけしっかり議論を進めていきたいと思。養正市営団地の再開発はあすかまちづくりセンターの職員とも共同して取り組みたい。今年12月から再開発が始まる。商業用地が3つできる。地域の人に聞くと介護施設も欲しいとの声もある。私たちとしては地域の声をもとに運動を作ってきた。

(若井 修会長)



## 洛北診療所友の会

洛北診療所友の会は4年ぶりに会食付きの総会を実施した。コロナ対策をしながらバス2台で送迎した。初めて参加した方も含め会話も進み、すばらしい取り組みとなった。新方針は別枠で説明し提案。初めて聞いて「なんのこっちゃ」と思った方もおられれば、そんな提案がされているのかと関心を寄せた方もおられました。今後も友の会会員にした知らせ来年の4月1日実施に向けて頑張りたい。



社員総会の感想を一言。システム障害の問題は交通事故のようなものという側面と一定予測できるものもあったのではないかと思った。昨年度洛北診療所は予算達成してよかったと思っている。経営問題に関心を持って友の会としても活動したい。(原口幸一副会長)

## 2023年3月 ケアプランセンターせんにゆうじ（居宅介護支援事業所）開所！！

2022年7月にどんぐり居宅が閉所、2023年3月に“ケアプランセンターせんにゆうじ”と事業所名を変え開所致しました。



当事業所の所在地である東山区は、世界文化遺産の清水寺をはじめとする有名社寺や史跡が多く、四季を通じて多くの観光客が訪れています。五条坂から泉涌寺付近を中心に作られる京焼・清水焼は、京都の伝統産業として全国に知られている地で活動しています。



### 【居宅介護支援事業所とは】

ご利用者のおかれている状況に応じて、適切な介護サービス、福祉サービス及保健医療サービス、又、地域のインフォーマルサービスと連携し、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成します。

### 【事業所理念】

- ①ご利用者、ご家族の望まれる生活が送れるよう支援致します。
- ②地域に開かれた信頼できる居宅介護支援事業所を目指します。

### 【事業所特色】

当事業所は2名のケアマネジャー体制です。再開して短期間ではありますが、2名のケアマネジャーは10年以上の経験があります。小規模事業所ならではのチームワークの良さ、速やかで丁寧な対応を心がけています。介護サービスに関する事、お悩みことやご相談等があれば、ご連絡いただければと思います。東山診療所、訪問看護ステーションどんぐり、ヘルパーステーションくるみとともに、地域の皆さまの望まれる生活をお過ごしいただけるよう努めてまいります。

### 【事業所概要】

所在地 京都市東山区泉涌寺門前町 26 - 4 音羽屋ビル 1 階

電話 075-561-5504

Mail アドレス cp.sennyuji@shinwakai-min.jp

営業日 月～金 9時～17時

定休日 土日祝日、年末年始

営業地域 京都市東山区（粟田・有済学区除く）



## ご存じですか 「無料低額診療事業」

### ※無料低額診療事業

様々な理由により医療費の支払いが困難な方を対象に医療費の減額や免除をおこなう制度です。



あなたや、あなたのまわりにこのような方はおられませんか？

- ・医療費が高額で負担を感じている。受診をためらっている。
- ・収入が減った。失業した。
- ・健康保険料や公共料金を支払う余裕がなく、滞納している。
- ・年金が少なく医療費を払う余裕がない。
- などなど…

お近くの信和会事業所へお気軽にご相談ください

